

令和6年9月6日

Friends Up

山根 良友

言葉によって人生は変わる

Part1 山根の過去のお話

本日、お話させていただく、学習塾を経営している山根良友と申します。皆様どうぞよろしくお願い致します。

今日のお話では、私の過去・現在・未来を15分ほどでというご依頼ですので、そのようにさせていただきます。まずは私の過去から。

私は、大田区の東糀谷出身です。日本の学力底辺層なんていわれていたところです。まずは0歳のころに頭から落ちて、脳波に異常が見られました。小学4年生まで東邦医大に通っていて、脳波検査というものをやっていました。頭にコードをたくさんつけて、目の前を光がチカチカしたりするのを様子を見られたり、けっかといって足をたたいたり、手をくるくる回したりした覚えがあります。また生れつきアトピー性皮膚炎がひどい子どもでした。包帯を巻きながら小学校に通っていました。大田区の下町だとそうしたことが目立ちます。人からは特異な目で見られます。イジメ?にも合いました。どんないじめか記憶にありませんが淋しい思いをしたことはあったような気がします。差別は受けました。しかし小学生のころはまだそこまでひどくなく、中学受験のストレスからから6年生の6月に日能研にはいった後から徐々に症状が悪化してきました。中学生になると一気に悪化し始めました。関節だけでなく、首回り、おしり、背中からは皮膚がなくなっていました。ふとんは毎朝、血まみれのシーツです。血って洗っても落ちにくいんですよ。母はどんな気持ちでシーツを洗ってくれていたのでしょうか。掻くなと言われるので叩くようにしました。寝ている時にたくさんかいてしまうので、寝ている時も叩くように努力して意識して叩くように訓練しました。ただアトピーのかゆさというのは尋常ならざるものがあります。たとえば掻いていくうちに皮膚を突き破ります。それでもかゆいのです。掻いている時は、かゆくて肉の奥の方をかきます。爪を立てて血が出てもかき続けられるかゆさです。その後、激しい痛みが襲ってきます。そんなかゆみなのでたたくという訓練もかなり強きたたくようになりました。顔がかゆい時は顔をたたくのです。寝ている時も顔をたたくのです。そうした中、直接的には学校の体育の時間でボールが顔面に当たりということでしたが、普段からの衝撃に眼も弱っていたのかもしれない。網膜剥離となり、都合5回の手術の後、左眼は失明しました。それも高校2年生のころから浪人の受験生にかけてです。アトピーはかゆいわ、眼は見えなくなるわで、本当に今から考えるとよく勉強していたなと感心します。勉強どころではなかったのです。

そして大学2年の春に兄が交通事故でなくなりました。

なんなんでしょうか、僕の人生は。そんな風に考えてしまいました。

眼を失明したからといってアトピーがよくなるわけでもない、兄が生き返るわけでもない、条件のせい、環境のせい、親のせい、まわりのせいにしたくなります。貴重な中高時代はかえってきません。皮膚がただれては運動もできない、彼女もできない、勉強もできない、最悪だ！

当時はもっといろんな思いをしていたと思います。

しかし、時間は良くも悪くも、勝手に過ぎていってくれます。

そうしたことがありながら、大学4年生となり、就職活動の中で、前から目指していた先生、教師というものを考えて、自分がやるなら学校の先生でなく塾の先生かなと思って、まずは神奈川県ナンバーワンの塾に新卒採用では日本で一番給与が高い待遇トップ入社しました。

大手時代では、プロ講師としての基礎を学び、2年して退職、地元に戻って貢献したいと思って、フレンズアップを立ち上げました。これが2005年のことです。

フレンズアップは今年の10月でおかげさまで19周年となります。

Part2 山根の現在のお話

フレンズアップを立ち上げからは、19年間、ただひたすらに走り続けてきました。

最初は東糀谷で父が勤めていた会社の社宅の一室をお借りして始めました。全くお金がなかったからです。そこは取壊し予定の建物だったので特別に許可をいただきました。そして東糀谷で1年ちょっとやって、雑色駅のそばである六郷に移転しました。

塾と一緒に立ち上げたのは、大学生のころと一緒に塾講師のアルバイト仲間だったK先生です。早稲アカでナンバー2になったこともある、優秀な先生でした。何よりも一緒にいて楽しい人でした。自分も神奈川でナンバー2になったことがあったので、東京のナンバー2講師と神奈川のナンバー2講師が結託して立ち上げた最強の学習塾でした。

当然のように？ではありませんが、奇跡のような結果を毎年出し続けていきました。ただ生徒はそれほど増えませんでした。あまりにもいい塾だから紹介したくない、とも言われたことがあったし、二人とも勉強を教えるプロだったけど経営のプロではなかったからです。

経営に関しては、大学生時代から「社長になる」と決めていた自分は勉強はしていたけど、二人でやるとなると、二人で同じ方向を向いたときに決定となると、かなり鈍足となり全然進まないことも多々ありました。

そうこうして10年目を迎えた年に、コンビを組んでいた先生がプライベートの諸事情でいろいろと問題を起こしてしまって、それが仕事に影響が出始めたので、相談の上、やめてしまいました。とても残念でした。

それから新しく社員を雇ったり、卒業生に声をかけてアルバイトをしてもらったりと、変わらず奇跡のような結果を毎年出していました。

K先生でなくても、他の先生でも結果を出せるように、山根式授業を完成させてそれを研修で仕込んで授業してもらっていました。

新人君がK先生を超えるような結果を出したこともありました。

ところが13年目、徐々に生徒が減っていったため、経営が立ち行かなくなりました。現金が底をついたのです。

スタッフは事務員さんをはじめとして7名いましたが、全員やめていただき、生徒は、近隣の塾を回ってお願いしました。

この時すぐに某有名私立の理事長先生からお電話をいただき、「塾を閉じると聞きました。うちに来てもらえませんか。」とお誘いを受けたり、他塾の塾長先生から「うちに来ませんか」をお声掛けいただけたりとしました。とてもありがたいことでした。
妻は完全に私立の教員になることに賛成でした。

しかし、私が塾を立ち上げた思いは

「大田区から日本の教育をより良くする！」「教育を通して日本をよりよい国にする！」
です。

こうした想いを実現するには、もう一度学習塾を復活させて、やり直したい！という衝動にかられて妻と話し合い、「もう一度やらせてほしい」「お金はなんとかする」と銀行を頼りました。

以前から取引のある信用金庫さんが力を貸してくれて、国の機関を紹介してくれました。

既に借金のある人間が、会社をつぶしてまたやり直したいからと借金ができるほど世の中は甘くありません。

しかし、ここで奇跡が起きました。

国の担当者と2回話し合った後

「山根さんのことを調べさせていただきました。フレンズアップに貸すんじゃない。山根良友に貸すんだ。死ぬ気で頑張ってくれ！申請金額の倍だそう。だって山根さん生活できないだろう！」
ととても熱い思いをいただきました。

そして、東糀谷から六郷で塾をやっていましたが、14年目と続き、現在の蓮沼校で再開することが出来ました。

ここでも、素敵な出会いがあり、現在は他塾の塾長先生にきてもらって文系科目をその先生、理系科目、算数、数学、理科を私が担当して、さらなる、とんでもない奇跡を起こしている塾となりました。この他塾の塾長先生もかなり特別な先生で、5教科の模試を作成することができるような実際に、プロとして、模試を作成しているような先生です。

ちなみにK先生のときも、新人君のときも、現在の塾長先生のときも、どれくらい点数を取らせているのか、数字をとって競争していますが、入試の結果で見れば、K先生のときは私の9勝1敗、新人君は私の全勝、塾長先生も私の全勝と、優秀な先生方の倍以上平均点から上の点数を私が取らせている年が多いです。

1敗したのは、私が冬にぶっ倒れて、冬期講習会を1週間お休みした年でした。

ただ近年の結果については、塾長先生もものすごいよくて、一緒に競っていて楽しいです。

そうやって、数字をとってどれくらい実力があるのか、客観的に数値で測っています。

今年の受験も有り得ないような奇跡が起きて、中3生全員が第一志望合格となりました。

みんなすごかったです。

Part3 山根の未来のお話

私が目指しているのは、もう勉強で困るようなことは終わらせたい、勉強はできるようになって、その先の生き方とか、死に方とかしっかり死生観を考えられるような教育をしていきたい、ということです。

勉強には適切なやり方があり、その伝え方もあります。山根式授業は 2015 年には完成して、中学理科の勉強に関しては、現在フレンズアップでは動画のみで行っていますが、ほぼ毎年偏差値 70 越えが出ます。必ず偏差値 65 以上の成績を出す生徒が輩出されます。

動画のみで、です。

数学も現在は半分は動画で半分、私が前に立って授業をしています。

小学部は毎回私が前に立って授業をしています、勉強のやり方を覚えてもらえれば、後はある程度自動的にできるようになっていきます。

だから私の目指す未来は、もし私以上にうまい人がいれば別に私の動画ややり方でもなくていいので、日本で一番授業の上手い人の授業とかをみんなで共有出来て、それが各学校の先生は、わからない子を一人一人教えていくのに注力出来て、勉強をできるようにさせることに関してはある程度終わらせることです。

いきなり学校で実現するのは難しいとしても、民間でまずは塾からやっていきたいと思っています。

それを実現するには、多くの人たちの協力が必要です。

私はそれを「達人プロジェクト」と呼んで、いよいよ今月からプロジェクトがスタートできそうです。既にホームページのたたき台や私の密着紹介動画などはできています。

だから今回のお話を通して、実は私が一番伝えたいことは、勉強できるできないよりももっと大切なことがある、それを伝えたくて、今日はこの場にいます。

ここで、皆さまに質問です。

私の過去のお話をしました。

脳波の異常、アトピー、いじめ、目の病気、受験がうまくいかない、兄のこと・・・

私は不幸だったのでしょうか。

大変だったのは間違いないかもしれません。

しかし、幸か不幸か、それは私が決めることで、自分で不幸だと思えば不幸だし、幸運だと思えば幸運です。

幸不幸というのは、本人が決めることであって他人が決まる事ではないからです。

ではどうやって自分で決めていくのでしょうか。それは実は全ていいとかかわるとか、自分で理由をみつけて感謝に変えることができます。

先の自分の例ですと、まず私にはそうした身体でも応援してくれる両親や兄がいました。

そして友だちもいました。私より大変だったのは、血の付いたシーツを洗う母であり、自分の体質を遺伝させてしまったと私をみる父であるのです。そこに気が付くと私には感謝しかありません。包帯をぐるぐるにまいている変な友だちでも一緒にいてくれる本当の友だちができました。実は中高時代の友人はみなさん超一流の会社にお勤めなので今は Friends Up にきてもらって講演して

もらったりしています。しかもみんなタダで。お金を受け取ってくれないのです。超一流の方々なのでちょっと来て思いついたことを話すなんてレベルではなく、何時間も時間をかけて準備して、パワポつくって資料つくってお得意様へのプレゼンのように子どもたちのために一所懸命面白くお話をしてくれます。こんなにありがたう楽しいことはありません。病氣していたから真の友人を早い段階で見つけることができたのです。

兄がいのちをつかって教えてくれたおかげさまで、人生は1度しかないとまざまざと見せつけられ、真剣に考えるようになり、1度しかない人生なら思いっきりやろうと、夢を追いかける土台ができて、2年でサラリーマンをやめて独立できました。そして先のようなたくさんの喜びごとに出会えているのです。感謝しかありません。

自分の人生は自分で決められます。

お金持ちになりたいとか、パイロットになりたいとか、そうした後からついてくる結果ではなく、自分の人生は自分の感情によって成り立っている所以自分で決めているのです。

結果、もし本当にお金持ちになりたいとか、パイロットになりたいとか願って行動していけば、それは必ずかなってしまうものなんだと思います。

私の病氣についてもそうです。

生れつきだったので大変だったにもかかわらず治そうという意思が弱かった？というよりもそこに意識が向いていなかったのだと思います。治そう、よくなっていこうと思った瞬間からどんどん良くなってきました。病氣は治らなくても症状が出なければそれでいいのです。そして実際に治っていました。

お金だってそうです。たとえお金がなくても必要なものがあれば、お金はなくてもいいのです。お金というのは何かと交換できるというモノだけなのですから。お金がないときは必要なものをタイミングよく、周りからもらえたりもしました。

皆さんはこれからの人生で何を望みますか。

どんな感情で人生を送っていきたいと思っていますか。

それには何をしているときにそういう感情でいられるのでしょうか。

より具体的に、より正確に、期限をつけてイメージしてみてください。

そうしたことができればできるほど、きっとそこに近づいていくのだと思います。

その証拠というか、私が体験したお話をします。

私が0歳の時に頭から落ちて脳波に異常があったとお話しました。これにはお話の続きがあります。

フレンズアップを立ち上げる直前、MRI といって脳の断面図が撮れる検査をしました。ある方から一度脳を見てもらった方がいいと言われたためです。なんと検査の結果、山根の左脳は大きな穴があり欠損していて、数学ができる部分がありませんでした。自分でもみてビックリしました。医学的には障がい者で子どもの時は養護学校に通うことになるそうです。脳外科の先生曰く「そんな君が、障害もなく、数学を解き、ましてや数学の先生をしているとは驚きだ。」とのことでした。

数学をやる脳みそがなくても、数学ができるのです。
これってすごくないですか。

でももっとすごいのは、皆さんです。
私のように左脳を欠損しているわけでもないなら、私以上に算数、数学ができるようになる可能性が十分にあります。

脳がなくても数学ができるなら、脳があつたらもっとできるようになります。

つまり、一見不可能に思えることでも、できることがあるということです。
このことを確実にするために、一つ魔法をお伝えして、本日のお話を終わりたいと思います。

有名な詩を紹介します。

心が変われば行動が変わる
行動が変われば習慣が変わる
習慣が変われば人格が変わる
人格が変われば運命が変わる
運命が変われば人生が変わる

今から 200 年ほど前の詩です。

これは人生が変わる方法ともいえます。詳しく見ていくと
心＝行動＝習慣＝人格＝運命＝人生
とも読み取れます。

では、どこか一か所変われば、人生が変わるということです。
どこを変えますか。

心？ころころ変わるのに？
習慣？なかなか変えられませんよね。
人格。もっと無理そうです。
運命。さらに無理そうですよね。

そうです。残ったのは
行動です。
では行動のどこから変えればいいのか。

それは 言葉です。

言葉を変えれば、人生が変わります。

実は私もそうです。
無理とか、できないとか、言わないようにしています。
人に対しても死ねとか、絶対に言いません。
言葉には力があって、それは正しく使うことだと思っているからです。

だから、大変な時は「いよいよ面白くなってきた。」
難しくてできそうにない時は「大丈夫。俺ならできるはず。」

と実際に言葉を出すことで、乗り越えてきました。
できる、大丈夫、余裕余裕！
こうした言葉をどんどん使ってほしいです。
ただ今日はもっとカッコイイセリフを考えてきました。

Yes ! I can !

英語です。(笑)
なんかカッコよくないですか。
意味は、そうだ！俺はできる！そうだ！私はできる！になります。

一緒に言ってみてもらっていいですか。
私に続けていってみてください。

Yes ! I can ! ハイっ！
(Yes ! I can !)

Yes ! I can ! ハイっ！
(Yes ! I can !)

もっと大きい声で言ってみようか。
Yes ! I can ! ハイっ！
(Yes ! I can !)

まだまだ！
Yes ! I can ! ハイっ！
(Yes ! I can !)

いや、自分一人よりも、私もそうだったけど、みんながいるからもっとできるというのがあるね。
I じゃない We に変えよう。
俺じゃない、俺たちだ。私じゃない、私たちだ。
そうだ！俺たちならできる！
言ってみよう。
Yes ! We can ! ハイっ！

(Yes ! We can !)

そうだ！私たちならできる！

Yes ! We can ! ハイっ！

(Yes ! We can !)

ありがとうございました。

是非、今日のご縁を通して何か一つでもやる気になったり、やってみようと思ったことがあったら最高にうれしく思います。

僕が病気や兄の事を通して学んだことは、自分の人生なんだから、楽しんだもの勝ちだな！あつという間に来世になっちまうから今しかできないこと、今ならできることをガンガンやっていった方がいい、時間はない！さあ、今すぐやろう！
ということです。

最後になりましたが、今回この場をご用意してくださった矢口東小学校の先生方、特に井上先生、深井先生にはこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

皆さま、ご清聴誠にありがとうございました！

山根 良友